

佐井村と西目屋村が連携協定

10月3日(水)、青森公立大学国際交流ハウスで、佐井村と西目屋村との連携協定締結式が行われました。

協定は両村の今後の教育、文化、産業など幅広い分野での交流事業をはじめ、地元製品の販売促進や災害時の相互支援体制など、公立大学の学術的ノウハウや学生の力を活用し、一層連携強化を図り、両村の地域振興を進めるものです。

当日は、太田村長と関西目屋村長に加え、青森公立大学香取学長、同大学福土理事長両名の立会いのもと協定書へ調印し、四者握手をして両村の発展を誓い合いました。



左から、太田村長、香取学長、関西目屋村長、青森公立大学福土理事長

木のぬくもりを実感！「木材加工教室」



▲作品づくりの様子▼

10月2日～16日(毎週火曜日の計3回)、森林体験館で館長の三戸良太さんの指導のもと、佐井中学校1年生20名による「木材加工教室」が行われました。

これは、地域の施設や資源の活用を通じて、地域の方々との連携、そして佐井村の特産品であるヒバの良さに触れることを目的に、技術の授業の一環として行われたものです。

生徒たちは、自分のほしいものを思い思いに描きながら、市販のキットにはない自由な発想で設計図を作成し、ノコギリなどの慣れない工具を使い、熱心に作品の制作に取り組んでいました。

完成した作品は、10月21日(日)に行われた佐井中学校文化祭で展示されました。



▲展示の様子